

第3回 プロ作家の書き方 ②

1. 場面(建物や風景)の描写

- ・五感(視覚、聴覚、臭覚、味覚、触覚)を使う。

私が小さなコーヒーショップに入ると、カウンターの中に男性がいた。

↓

赤い屋根がある小さなコーヒーショップのガラスドアを開けると、チャリンという鈴の音。香ばしいにおいが鼻孔をくすぐる。

「いらっしゃいませ」

カウンターからは渋い口ひげをはやした、店主と思われる男性の低い声が響いた。

2. 主語を減らす

(私が)赤い屋根がある小さなコーヒーショップのガラスドアを開けると、チャリンという鈴の音。香ばしいにおいが(私の)鼻孔をくすぐる。

「いらっしゃいませ」

カウンターからは渋い口ひげをはやした、店主と思われる男性の低い声が(私に)響いた。

3. 文章にリズムをつける

- ・一文の長さを変える。
- ・句読点を上手に使う。
- ・文末に変化をつける。